



平野中だより

<学校教育目標> ともに学び 挑み 夢を語る生徒

蓮田市立平野中学校 TEL048-766-9003
 ホームページ <http://hiranojhs.o.oo7.jp>
 Eメール j-hirano.hasuda@nifty.com 心のホット相談室 TEL&FAX 766-9393



令和4年7月1日

「乗り越える力 ～試練～」

校長

7月：文月となりました。今年度の修学旅行も計画どおりに実施され、貴重な経験と思い出のページを増やすことができました。7月20日は1学期の終業式、そして夏休みに入ります。そこで今日はぜひ、みなさんに心で受けとめてほしいことがあります。

今、学校生活の中では、「この〇〇ができなければここまでいいよ」「先に進めなければよけていいよ」という場面が、以前と比べると増えている気がします。これは時代の変化なのでしょう。しかし、誰もが少なくとも一度は「自分の力で乗り越えなければならないこと」に出会うのです。誰も力を貸してくれません。まさに「試練」なのです。スポーツの世界や人生を語るときによく使われる言葉です。

「試練」とは、「辛く困難なこと」や「立ちはだかる壁」などを意味します。部活動の大会やコンクール、3年生になれば入試なども、「試練」のひとつかもしれません。その「試練」を乗り越えるためには、たゆまぬ日ごろの練習や勉強、積み重ねが必要ですが、

『どんな結果を目指したいのか。今の自分に必要なことは何か。自分は具体的に何をすればよいのか。』と考え、意志を強く持つことも大切です。時には、自分が迷ったりわからなくなってしまうときには、一人で悩んでいても、なかなか解決しないことがあります。先生や友だち、第三者へ相談して話すことによって方向性が見いだせるかもしれません。この先、みなさんの人生には、様々な試練があると思いますが、あきらめず、逃げず、**勇気と信念をもって前向きに進んでください。**



日本の実業家、技術者でもある本田技研工業（通称:ホンダ）の創業者、本田宗一郎氏は「試練」についてこのように述べていらっしゃいます

成功者は、例え不運な事態に見舞われてもこの試練を乗り越えたら必ず成功すると考えている。そして、最後まで諦めなかった人間が成功しているのである

< 本田宗一郎 氏 >

♪ 今月の歌

我は海の子

我は海の子 白波の
さわぐいそべの 松原に
煙たなびくとまやこそ
我がなつかしき 住家なれ

生まれて潮に しお ゆあみして
波を子守の 歌と聞き
千里寄せくる 海の気を
吸ひてわらべと

なりにけり

高く鼻つくいその香に
不断の花の かをりあり
なぎさの松に 吹く風を
いみじき がく 楽と 我は聞く

文部省唱歌

【曲について】

○1914年（大正三年）刊行の「尋常小学唱歌」第六学年用に掲載された文部省唱歌。歌詞は、鹿児島市出身の宮原晃一郎の詩が採用された。歌詞は全部で七番までであるが、今日歌われるのは一般的に三番まで。

